



兵庫県立尼崎病院
第4回 がん診療連携拠点病院 医療者研修会

[講演]

『がんの分子診断と個別化医療』 ～希少疾患としてのがん～

いまや国民の2人に1人がかかる「がん」。それを「希少疾患」と捉え直すというのは不思議な感じがします。しかし、今やがん治療薬の開発は希少疾患戦略と切り離して語ることはできません。その謎解きとして、まず「がんとは何か」「どうして治療に抵抗性を示すのか」という点をがん細胞生物学の視点から見直したいと思います。そして近年急速に普及しつつある「分子標的治療」に焦点をあて、そのコンセプトを概説するとともに実際の臨床例も提示いたします。今後どのようにがん治療戦略のパラダイムが変化するかについても討論できればと思います。

[講師] 兵庫県立がんセンター研究部長兼産婦人科医長

須藤 保 先生

[開催日時] 2013年 6月 27日(木)

18:00～19:15

[場所] 兵庫県立尼崎病院 2階 講堂

問い合わせ先： 兵庫県立尼崎病院 泌尿器科
山田 裕二
TEL:06-6482-1521

主催:兵庫県立尼崎病院 がん診療委員会
後援:兵庫県がん診療連携協議会